

令和2年度 福島県高等学校体育大会バレーボール競技県南大会  
第66回 福島県高等学校体育大会地区代替大会 実施要項

- 1 主催 福島県バレーボール協会、県南地区高体連、福島県教育委員会
- 2 主管 県南地区バレーボール専門部
- 3 目的 県高校体育大会・県総合体育大会の中止により、練習の成果を発揮する場が無くなってしまったという状況を踏まえ、県南地区の高校3年生が参加できる大会を開催する。
- 4 期日 令和2年7月26日(日) 8月2日(日)  
※各校の授業時間確保や会場借用などの観点から、日曜日を利用して大会を開催する。
- 5 会場 各高校体育館  
※感染症防止の観点から、全チームを同一会場に集中させないための措置である。組み合わせが確定し次第、該当校に連絡する。
- 6 参加資格 各高校のバレーボール部員として活動している1、2、3年生であること。
- 7 競技規則 令和2年度公益財団法人日本バレーボール協会競技規則による。
- 8 競技方法 トーナメント戦を行う。
- 9 申し込み 別紙申込用紙に必要事項を記入の上、下記に申し込むこと。  
(1) 申込締切日 令和2年6月24日(水) 必着  
(2) 申込方法 メールによる申込 yoshida.keigo@fcs.ed.jp  
(競技担当 田村高校 吉田 圭吾)
- 10 組み合わせ 高体連県南地区バレーボール専門部役員及び県南バレーボール協会高校選出役員の責任のもと、令和元年度福島県新人体育大会県南地区大会の結果を参考に組み合わせを行う。
- 11 チーム構成 監督・コーチ・マネージャー各1名、試合ごとに最大エントリー18名から最大14名まで選ぶことができる。マネージャーは生徒でもよい。また外部指導者は、所定の手続きを完了していなければならない。
- 12 留意事項 感染症防止の観点から次の点について、ご協力ご理解をお願いします。  
(1) 発熱や咳などの風邪症状がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は、参加を見合わせる。また競技を行っていない場合、小まめな手洗い、アルコール等による消毒、マスクの着用(ただし熱中症に注意)を行うこと。  
(2) 試合以外でも補助員等が必要であり、会場が分散されるので、監督や役員だけでなく、選手の皆さんにも様々な業務に協力をお願いすることがあります。  
(3) 1日のチームの試合数は最大2試合までとする。  
(4) 十分換気をした状態で練習及び試合を行う。そのため、試合に著しく支障が出る場合以外は、カーテン・窓を開けて行う。その際、2階ギャラリーからの落下等の事故に十分注意をする。  
(5) できる限りの密を防ぐため、試合前の練習は各会場で話し合い、時間制とする。  
(6) 保護者や選手は試合をしている該当チームのみ、ギャラリー等で観戦することができる。ただし、① 密集せず、ソーシャルディスタンスを意識して観戦をする。  
② 観戦中はマスクを着用する。(併せて熱中症にも注意願います。)  
③ 大きな声での応援は控える。  
④ 会場で試合をする 選手及びその保護者以外の観戦はご遠慮ください。(各チームは、選手及び保護者または関係者へ必ず連絡をお願いいたします。)また、保護者の皆様は自チームの試合が終了後、次の試合の観戦のため、速やかにギャラリー等を空けてください。  
(7) 選手の待機場所は、各会場校で指定した待機場所とする。待機中、ソーシャルディスタンスを意識する。(各チームでご指導ください。)  
(8) チームは、各自が飲料水やタオルを準備するなど、チームとして可能な対策を講じること。
- 13 その他 (1) 監督・コーチ・マネージャー・主将は所定のマークを付けること。  
(2) 使用球は男子ミカサ V300W 女子モルテン V5M5000 を使用する。  
(3) 本大会は給水タイムを導入する。  
(4) 試合前後の握手は行わない。  
(5) 試合開始時刻は組み合わせ決定後に通知する。  
(6) 開会式は行わない。  
(6) 各チーム、線審、記録、点示ができるようご準備ください。  
(7) 会場では、指定された場所以外は立ち入らないこと。ゴミ等は各チーム持ち帰りとなります。  
(8) 新型コロナウイルスの感染状況によっては、やむなく中止とする場合もあります。